

## 夏休み企画「親子哲学カフェ」 実施報告

テーマ：桃太郎

開催日：2018年8月21日（火）

今回は、桃太郎をテーマとして、当日は、大人6人、子ども7人の計13人が参加しました。夏休み企画ということで、多数の子どもが参加しました。

まずは桃太郎の絵本の読み聞かせからスタートし、子どもたちから、素朴に思ったことや疑問に思ったことをあげてもらいました。桃から子どもが生まれるのはなぜか、川から流れてきたものを食べて病気になるのか、おばあさんは年寄りなのに重い桃を抱えられたのはなぜか、さまざまな果物があるがどうして桃なのか、赤ちゃんが入っている桃は水に浮くのか、どのようにして桃の中で生きていたのか、お供がいぬとさるとキジなのはなぜか、桃太郎が動物の言葉がわかったのはなぜか、動物たちはきびだんご1つでお供になろうと思ったのはなぜか、桃太郎を育て、学問も授けられたということはこのおじいさんとおばあさんは裕福だったのか、裕福だったと思われるがどうして川で洗濯していたのか、お姫様はお金にならないのに鬼がお姫様をさらったのはなぜかなど、冒頭のわずか十数分でたくさんの疑問があげられました。

桃太郎が動物たちにきびだんごを与えたことについて、人間の兵士にきびだんごを与え、殿様の軍勢を使えば、もっと簡単に鬼を征伐できたのではないかという的を射た意見が子どもたちから出されました。また、お姫様はお金にならないのにどうして鬼は姫を盗んだのかという疑問に対しては、嫁がほしかったのではないかと大人が答えると、子どもたちは納得しながらも、桃太郎に助けられてそのあと桃太郎と結婚したなら、お姫様に夫を選ぶ権利はなかったということなのかとさらなる疑問が生まれました。

そのような疑問の中から、お供がいぬとさるとキジなのはなぜかという問いを受けて、現実には存在する生物に限定し、3匹だけ鬼退治のお供に連れていけるとしたら何を連れていくかという問いかけをし、子どもたちの興味を引き出しました。

子どもたちは、「さる・ふくろう・オオカミ」、「ふくろう・さる・ねこ」、「はやぶさ・おおかみ・チンパンジー」、「インコ・いぬ・くま」、「ハスキー犬・みみずく・ホホワイトタイガー」、「いぬ・ねこ・うさぎ」などを選びました。

大人たちからは、「ふくろう・いぬ・スズメバチ」、「ぞう・チーター・ふくろう」、「へび・トラ・わし」、「チーター・ゴリラ・ゾウ」、「くま・うさぎ・うま」、「ねこ・ハシビロコウ・伝書バト」などがあげられ、スズメバチに関しては多くの大人がお供の連れていきたいと考えていたようです。

その動物を選んだ理由として、逃げるための、攻めるときのための、偵察のための、癒しのためという4つの理由に分類できそうでした。また、鬼のことも癒せるのではないかということで、和睦のためという意見も出ました。

その次に、1つだけ旅に持っていくとしたら何を持っていくかという質問をすると、餅、すっぱイトマト、食料、水、おかし（同じ種類のものを100個）、きびだんご、広い心、やさしさ、個室、ナイフ、刃物、えさ、酒とウコンという意見が出されました。

すっぱイトマトとおかし（同じ種類のものを100個）は、子どもの回答ですが、子どものイメージは非常に具体的です。広い心、やさしさ、個室は、いずれも大人からの回答でした。広い心には、仲間がミスをしたときにも大目に見ることのできるような、場合によっては敵のこともゆるせるような、そのような寛容な心を持ってほしいという子どもへの願いがこめられているようです。個室は、旅や戦闘の途中で疲れたときに、各自の部屋で休息できる空間があったほうがいいという意見でした。

これまでの意見を大まかに分類すると、「飲食系」、「武器系」、「環境設定系」の3つに分類できることがわかりました。食べ物は、水、もち、すっぱイトマトなど、武器は、ナイフ、刃物などです。環境設定のアイテムには広い心、やさしさ、個室、酒とウコンなどが含まれます。つまり、仲間が戦いやすいように、そして、あわよくば敵のことも懐柔して仲よくなれるように、状況をうまく整えるためのアイテムが環境設定系です。物事がうまく進行するため管理・運営するマネジメントのためのツールと言えるでしょう。どうやら大人は、環境設定を大事にするようです。

さまざまな意見が出ましたが、全員考え方や感じ方が違います。しかし、他の人の意見に対して、それはおかしいと言う参加者は誰もいませんでした。そこから、普段の行動を思い返し、学校でクラスメイトと意見が異なったとき、お互いに受け入れているだろうかという問いを投げかけました。

子どもによって異なる答えが返ってきました。ある子どもによれば、意見の違いからクラスでケンカになったことはないそうです。別の子どもは、いつもケンカになると証言してくれました。ここから、どのようなときに互いの意見を受け入れ、どのようなときにケンカになるのか、あるいは、どのようなときにクラスがバラバラになり、どのようなときにまとまるのかということをめぐる話し合いを行いました。

子どもたちの意見を聴いて、「結論」を出さなければならないときに揉めることが多いようです。それに対して、結論を出さなくてもよいときであれば、考え方が違っていてもまとまるようです。また、先生がクラスにいるときといないときの差も大きいようです。

先生がいれば、最終的にクラスはまとまるが、先生がいないと、とたんにバラバラになると子どもたちは言います。しかし、「まとまる」ということが、子どもたちにとっては、どうもひっかかっているようです。「まとまる」ということがどういうことなのか、また、何を基準に「まとまる」のかということに納得がいかないようでした。

学校の先生というのは、あるときはクラスを1つにまとめる存在でもありますが、他方で、多様な意見を封じて、なかば無理やりにでも団結や協調性を要求することもあります。参加した子どもによれば、しばしば学校の先生から「大人になれ」と言われるそうです。しかし、大人になるとはどういうことなのかがよくわからないようで、「大人の基準」をしきりに知りたがっていました。しかし、大人であって

も、もっと自分は「大人」にならなければならないと思うことはあります。では、どのような基準が「大人」ということになるのでしょうか。

そこで、子どもたちに、自分から見て「大人」だと思える人はいるかとたずねてみると、祖父母という答えがすぐに返ってきました。では、両親はどうかと問い返すと、少し思案した後に、子どもと答えました。ある子どもは、子どもと大人の間だから「ことな」と答えました。そこで、祖父母のことを大人だと思える理由を尋ねてみると、しっかりしているから、シャキッとしているから、理由を説明してくれるからという答えが返ってきました。「大人」とは、何かを禁止したり許可したりする際に、その理由を説明してくれる人のことをさしているようです。つまり、学校の先生や親は、子どもの目から見て、それができていないということになります。

哲学カフェのあいだ、子どもたちが一貫して述べていたのは、説明をしてほしい、説明をしてくれればわかるということでした。また、一方的に決めつけたり見かけで判断したりせずに一人ひとりの力量を見てほしい、「思春期だから」の一言ですまないでほしい、思春期だから反発しているわけではないと自分たちの気持ちを話してくれました。

また、とある子どもは学校の先生から自分の興味についてくだらないと言われたこともあるそうで、自分の興味はくだらないわけではないと怒りをあらわにしていました。そして、もっと違う言い方があると思うし、言い方を考えてほしいとのことでした。言葉の重み、言葉選びの大切さを、子どもたちから教えられたような気がします。

哲学カフェの最後に、子どもたちが、何でも言っているいいところが哲学カフェのいいところ、今日もたくさん言いたいことが言えた、普段は言えないことがここでは言えるから哲学カフェが好きと言っていました。前回、6月11日（月）に行った親子哲学カフェの際にも、同じ感想が子どもたちから出ました。何でも言っているいいという、ただこれだけのことが、普段の生活ではなかなかできません。だからこそ哲学カフェが必要とされていると感じます。

特に、今回の哲学カフェでは、小学生の他に乳児が参加していましたが、他の母親たちが交代で乳児をあやしていたり、小学生の子どもたちが乳児のめんどうをみてくれたりなど、助け合いがごく自然に行われていることが印象的でした。これからも、女性や子どもが暮らしやすいような社会をめざして、また、なんでも素直に言える機会を少しでも増やすために、哲学カフェを続けていきたいと考えています。

むしろ、先生が「くだらない」  
 ことば おも 言葉の重み 言葉 えらびの大事さ  
 (例) 「思春期だから」とか  
 一言で済まないでほしい。  
 反発するかわりではない。

「くだらない」  
 先生がいないとき  
 自分 { ぼー、とする  
 先生がいた方が? }  
 自分の「手取り」  
 はくだらない  
 わけではない。  
 一人なら...けど  
 仲良しなら...けど  
 一人一人の「力量」  
 「4年生になったらけ  
 ろかう。」  
 見えて  
 くるだけ?  
 決める?

興味  
 味  
 つかう  
 楽しみ。  
 楽しみ。  
 楽しみ。

「説明」  
 説明  
 説明

結論を出さなくて  
 いい時なら平気。  
 往々にして  
 結論を出さず  
 と焦ってしまう

「きびたんご」  
 無理な意見  
 現実ではできないこと  
 言える  
 大人になら  
 ず言われる。  
 大人になる? 何?  
 大人になら  
 ず大人になら  
 ない!  
 未熟 → 完熟?  
 おじいちゃん  
 おばあちゃん } → しやがらしい? =  
 しやがらしい? =



ふくつら  
 たる  
 ねこ

すっぱい  
 ねこ

インコ  
 犬  
 くるま

犬(スキー)  
 犬(みみずく)  
 ホリタケ

ねこ  
 はしびろこ  
 電書バト

ウコン + 酒